

第6回「先輩と語る」講演会

「治験・製造販売後調査および臨床研究に 対する薬剤師の貢献」

演者：神谷 晃博士（13期生）

山口大学医学部附属病院 副病院長・薬剤部長

日時：7月6日（月）18:30-20:00

場所：北海道大学薬学部臨床薬学講義室

主催：北海道大学薬学部

共催：日本薬学会北海道支部

後援：北海道大学薬学部同窓会

神谷 晃（かみや あきら）さんは、本学部13期生（薬剤学）。卒業後、大学院薬学研究科博士課程を経て広島大学医学部薬学科助手として生物薬剤学の分野で研究活動を開始しました。途中、米国ニューヨーク州立大学バッファロー校に留学し、帰国後は京都大学医学部附属病院薬剤部にて、薬物動態学・臨床薬理学の分野で活躍しています。平成元年より山口大学医学部附属病院薬剤部長・教授として転出し、病院における臨床治験業務（CRC）への薬剤師の関わり、医薬品使用のリスク管理等の仕事を通じ、病院の中核に薬剤師が効率よく関わっていくことを実践し、山口大学医学部附属病院 副病院長・臨床試験支援センター長を併任しました。現在は国立大学法人山口大学 副学長補佐（財務担当、人事・労務担当）も務めています。日本病院薬剤師会でも常務理事・臨床試験対策委員長の要職にあり、日本国内の臨床治験の充実に向けて奮闘しています。薬剤師職にありながら、広く大学の運営・医療行政にも関与している数少ない人材であるということから、今回特に講演をお願いしました。当日は質問時間をもうけますので活発に質問していただけることを期待します。会場が狭いので早めにお越し下さい。

連絡先：北大大学院薬学研究院薬化学研究室 松田 彰（011-706-3228）